

# 2024年3月期第1四半期 決算補足説明資料



# AGENDA

---

**I. 2024年3月期 第1四半期 決算概要**

**II. 2024年3月期 業績見通し**

# 2024年3月期第1四半期 決算概要

半導体不足の緩和により自動車生産は回復基調  
HDDサスペンションはデータセンター投資抑制が継続し売上低迷

売上高 11,713百万円 (前年同期比▲1,108百万円/▲8.6%)

営業利益 ▲878百万円 (前年同期比▲1,276百万円/▲320.5%)

EV関連製品

売上前年同期比+37.3%

- バスバーやLED関連製品の増加により前年同期比増収

電子情報通信分野

売上前年同期比△47.0%

- HDD用サスペンション・通信関連  
データセンター向け投資抑制の影響が継続しており、前年同期比減収
- プリンター関連  
需要は堅調であり、前年同期比微増

自動車分野

売上前年同期比+13.5%

- 材料関連・自動車関連  
自動車生産が回復傾向であることにより前年同期比+10.9%増収
- 自動車関連  
自動車生産が回復傾向であることにより前年同期比+14.3%増収

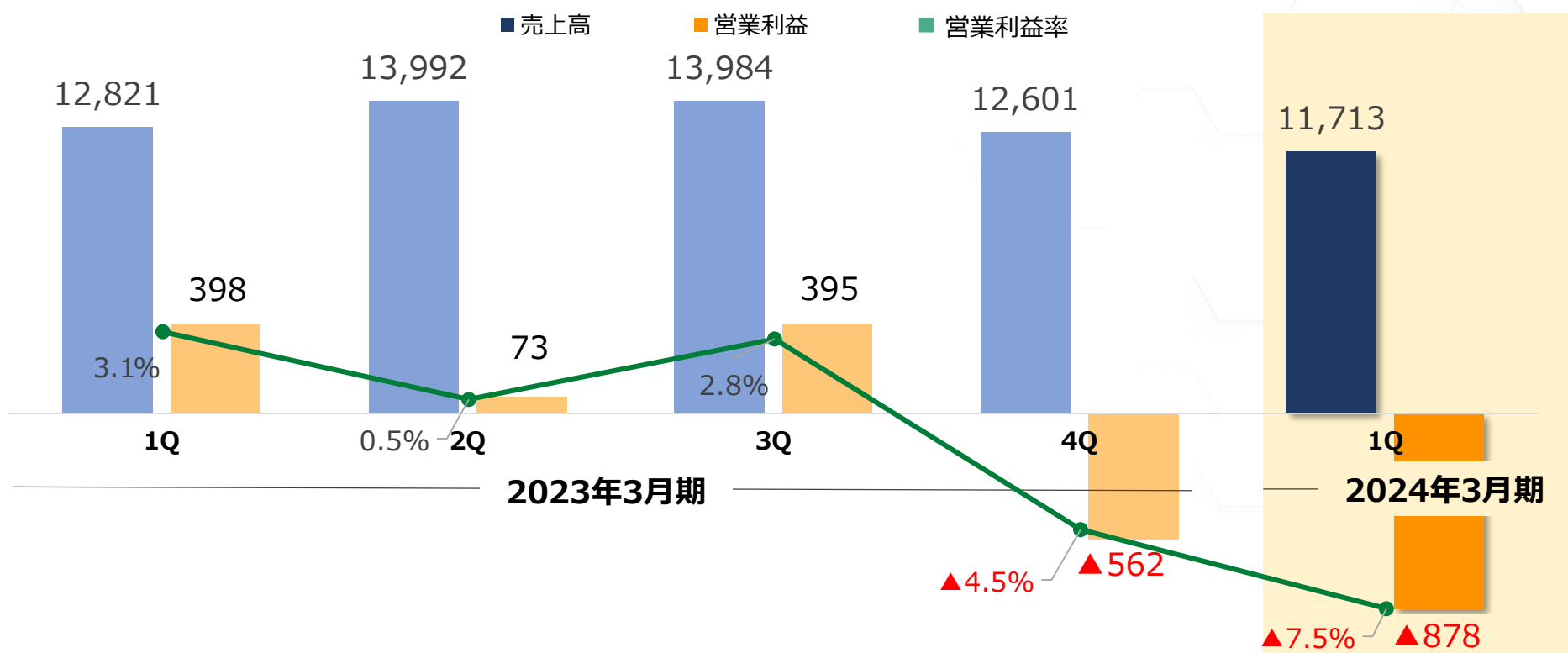
売上高	半導体不足等の解消に伴い自動車市場は回復基調であり、自動車分野の売上高は前年同期比増収。一方で、電子情報通信分野の売上減少により全体では前年同期比▲8.6%減収
営業利益	HDD用サスペンションの減収による利益減及び訴訟対応に関して有効な防衛策を講じる為の弁護士費用・その他費用等の増加他により営業赤字▲878百万円計上
経常利益	為替差益+199百万円、受取配当金+73百万円

単位：百万円	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期		
	実績	実績	前年同期比	
売上高	12,821	<b>11,713</b>	▲1,108	▲8.6%
営業利益	398	<b>▲878</b>	▲1,276	▲320.5%
経常利益	666	<b>▲563</b>	▲1,230	▲184.6%
当期純利益	437	<b>▲509</b>	▲946	▲216.3%
一株当たり利益	14.58	<b>▲16.94</b>		
平均為替レート	129.6円/ドル	137.4円/ドル		
	138.1円/1-円	149.5円/1-円		

## 対前四半期比較

売上高	データセンター投資抑制によるHDD用サスペンションの売上高減少。前四半期比▲1,069百万円減少
営業利益	HDD用サスペンションの減収による利益減及び訴訟対応に関して有効な防衛策を講じる為の弁護士費用・その他費用等の増加他により前四半期比▲315百万円減少

### 四半期別業績の推移



## ▶ 対前年同期比

<b>EV関連製品</b>		バスバーやLED関連製品の増加により前年同期比+37.3%増収
<b>自動車分野</b>	材料関連	自動車生産が回復基調であることにより前年同期比+10.9%増収
	自動車関連	自動車生産が回復基調であることにより前年同期比+14.3%増収
<b>電子情報通信分野</b>	HDD用サスペンション	データセンター投資抑制の影響が継続しており前年同期比▲62.7%減収
	プリンター関連	需要は堅調であり、前年同期比+5.6%増加
	通信関連	データセンター投資抑制の影響が発生しているものの、北米で拡販により売上増加。一方で、アジアでは減少となり前年同期から伸び悩み

単位：百万円	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期		
	実績	実績	前年同期比	
売上高	12,821	11,713	▲1,108	▲8.6%
EV関連製品	595	818	+222	+37.3%
電子情報通信分野	4,892	2,594	▲2,298	▲47.0%
HDD用サスペンション	3,729	1,390	▲2,339	▲62.7%
プリンター関連	833	880	+46	+5.6%
通信関連	329	323	▲6	▲1.9%
その他	154	152	▲2	▲1.3%
自動車分野	7,179	8,148	+969	+13.5%
材料関連	1,722	1,910	+188	+10.9%
自動車関連	5,457	6,238	+781	+14.3%

## ▶ 対前期末比

固定資産増加	積極的な設備投資による有形固定資産増加+409百万円 株価上昇による投資有価証券+1,273百万円
流動負債増加	買掛金+876百万円、短期借入金+516百万円
純資産増加	当期純利益▲509百万円、配当金▲273百万円 その他有価証券評価差額+886百万円、為替換算調整勘定+193百万円

単位：百万円	2023年3月期末		2024年3月期第1四半期末	
	実績		実績	前期末比増減
流動資産	31,449		31,700	+251 +0.8%
現金	7,707		8,053	+345 +4.5%
売上債権	10,941		10,108	▲832 ▲8.3%
棚卸資産	10,813		12,201	+1,387 +12.8%
固定資産	32,286		34,011	+1,724 +5.3%
総資産	63,735		65,711	+1,975 +3.1%
負債合計	25,696		27,367	+1,670 +6.5%
流動負債	21,324		22,814	+1,489 +7.0%
有利子負債	8,663		9,040	+376 +4.3%
固定負債	4,372		4,553	+181 +4.1%
有利子負債	2,368		2,379	+11 +0.5%
純資産合計	38,038		38,343	+305 +0.8%
負債純資産合計	63,735		65,711	+1,975 +3.1%

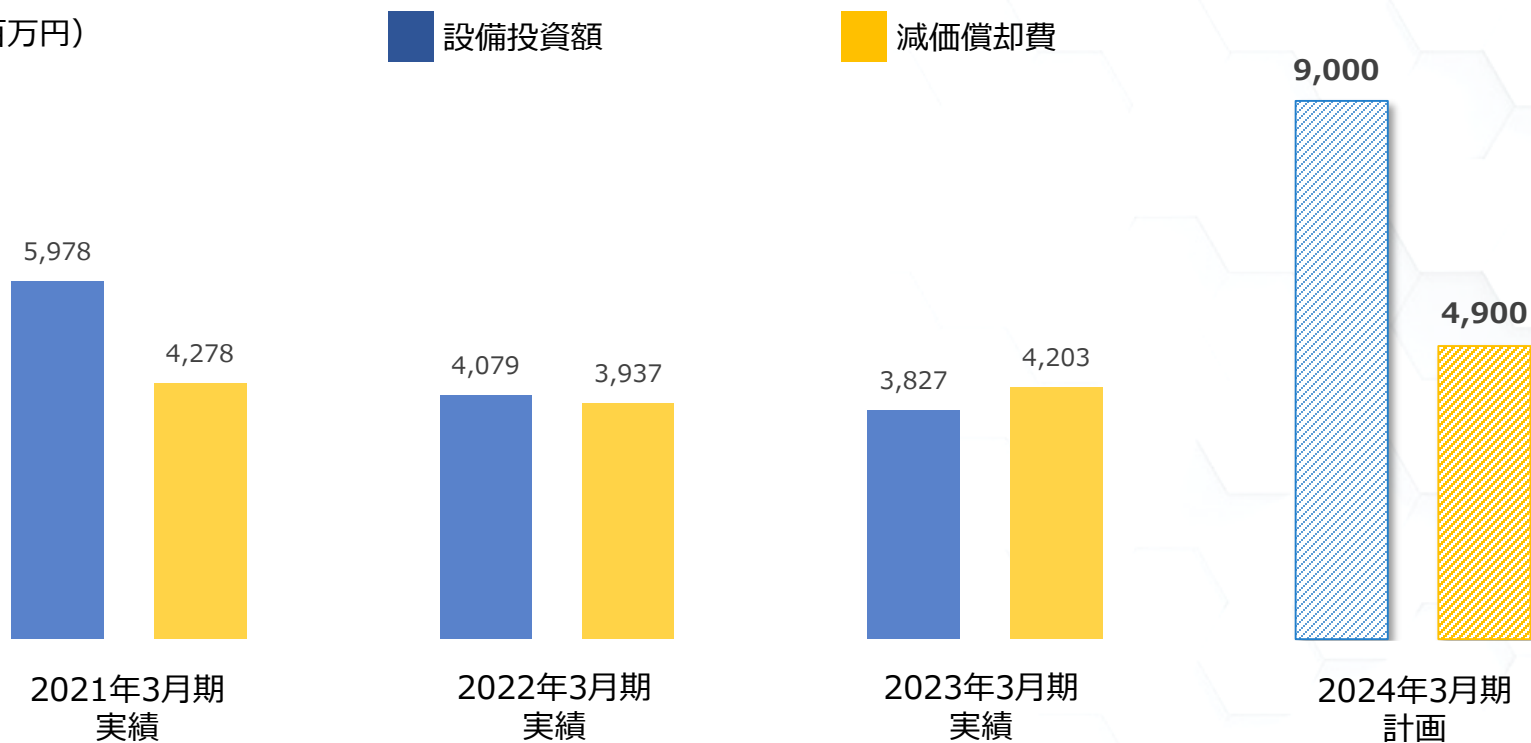


2024年3月期

総額90億円の設備投資（内HDD用サスペンションは54億円）を計画

## 設備投資額・減価償却費

(百万円)



※上記設備投資額については完成ベース

# 2024年3月期 業績見通し

## 5月12日公表の上期予想を下方修正、通期予想を取り下げ

電子情報通信分野の売上回復及びHDD用サスペンションの訴訟対応に関して有効な防衛策を講じる為の弁護士費用・その他費用等、不確定要素の影響を見極めることが困難な状況のため、通期業績予想を一旦取り下げることと致します。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表致します。

### ▶ 対5/12上期公表予想比

<b>売上高</b>	自動車分野において想定通りの回復が継続しているものの、データセンター向け投資抑制の継続によりHDD用サスペンション・通信関連の売上高が5/12公表予想比で減収となる見込み。
<b>営業利益</b>	HDD用サスペンションおよび通信関連の売上減少の影響に加え、HDDサスペンションの訴訟対応に関して有効な防衛策を講じる為の弁護士費用・その他費用等の増加他により5/12公表予想を下回る見込み。

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期					5/12上期 公表予想比
	実績	5月12日公表予想		実績 1Q	見通し		
		上期	通期		上期	通期	
売上高	53,399	27,000	58,500	11,713	<b>24,700</b>	—	<b>▲2,300</b>
営業利益	304	<b>▲460</b>	650	<b>▲878</b>	<b>▲1,500</b>	—	<b>▲1,040</b>
経常利益	848	<b>▲340</b>	950	<b>▲563</b>	<b>▲900</b>	—	<b>▲560</b>
当期純利益	557	<b>▲240</b>	800	<b>▲509</b>	<b>▲720</b>	—	<b>▲480</b>
一株当たり利益	18.57	<b>▲7.98</b>	26.61	<b>▲16.94</b>	<b>▲23.94</b>	—	
平均為替レート	135.5円/ドル	130.0円/ドル		137.4円/ドル	<b>133.7円/ドル</b>	—	
	141.0円/ドル	140.0円/1-0		149.5円/1-0	<b>144.8円/1-0</b>	—	

▶ 対5月12日上期公表予想比

EV関連製品	前回予想比で▲5.7%微減だが、概ね予想通りに進捗しており需要は好調見込み。
電子情報通信分野	データセンター向け投資抑制により前回予想比▲26.7%減少
自動車分野	自動車生産が概ね予想通りに回復しており、前回予想比+0.6%増加

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期			
	上期実績	5/12上期公表予想	上期見通し	前年同期比	5/12上期公表予想比
売上高	26,813	27,000	<b>24,700</b>	▲7.9%	▲8.5%
EV関連製品	1,296	1,920	<b>1,810</b>	+39.7%	▲5.7%
電子情報通信分野	10,760	8,580	<b>6,290</b>	▲41.5%	▲26.7%
HDD用サスペンション	7,809	5,850	<b>3,730</b>	▲52.2%	▲36.2%
プリンター関連	1,852	1,810	<b>1,710</b>	▲7.7%	▲5.5%
通信関連	760	720	<b>600</b>	▲21.1%	▲16.7%
その他	338	200	<b>250</b>	▲26.0%	+25.0%
自動車分野	14,757	16,500	<b>16,600</b>	+12.5%	+0.6%
材料関連	3,506	3,800	<b>3,770</b>	+7.5%	▲0.8%
自動車関連	11,251	12,700	<b>12,830</b>	+14.0%	+1.0%

## ◆EV等関連製品

### 対2023年度 5月12日公表予想比

・概ね予想通りに進捗しており、各製品の需要は好調見込み

### 今後の見通しおよび対策

- ・欧州にEV用電流センサーの販売拠点設立・稼働開始、更なる拡販を推進。
- ・EV関連製品の国内での開発・生産体制整備を推進。
  - ⇒電流センサー：2024年度に京都府亀岡市への開発拠点新設を決定。更なる高付加価値センサーの開発及び製品ラインナップの拡充を図る。
  - ⇒バスバー：日系メーカーが2025年に量産開始するEV車への採用が決定。サンコール菊池(連結子会社・熊本県菊池市)に新製造ライン整備等、生産能力増強を進める。

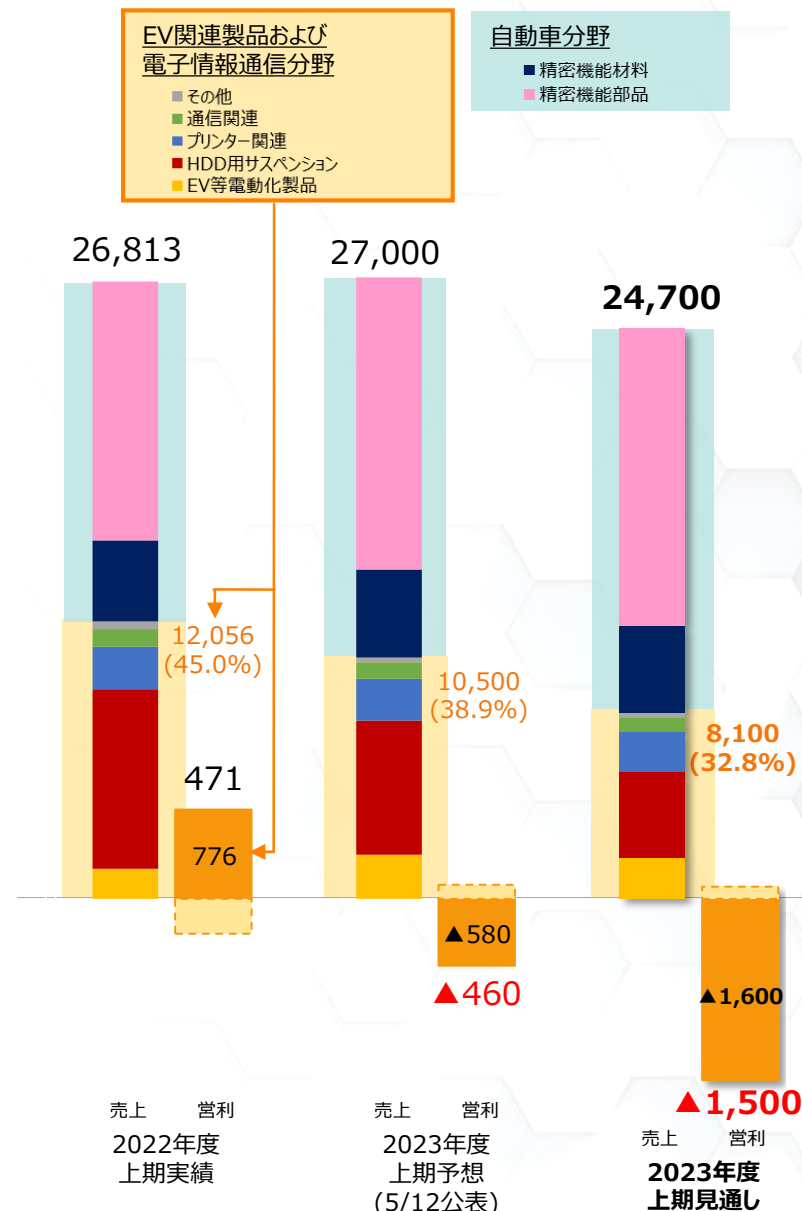
## ◆電子情報通信分野

### 対2023年度 5月12日公表予想比

- ・HDD用サスペンション
  - データセンター向け投資抑制による売上減少に加え、新機種増産対応にかかる費用の増加及び訴訟対応に関して有効な防衛策を講じる為の弁護士費用・その他費用等の増加により利益減少

### 今後の見通しおよび対策

- ・サスペンション事業は市場回復に備え、資本業務提携したアイメス社との協業により生産性改善を強力に推進。
- ・通信関連事業については生産性改善と市場回復後の受注拡大に向けた営業力強化を推進。



## ◆自動車分野

### 対2023年度 5月12日公表予想比

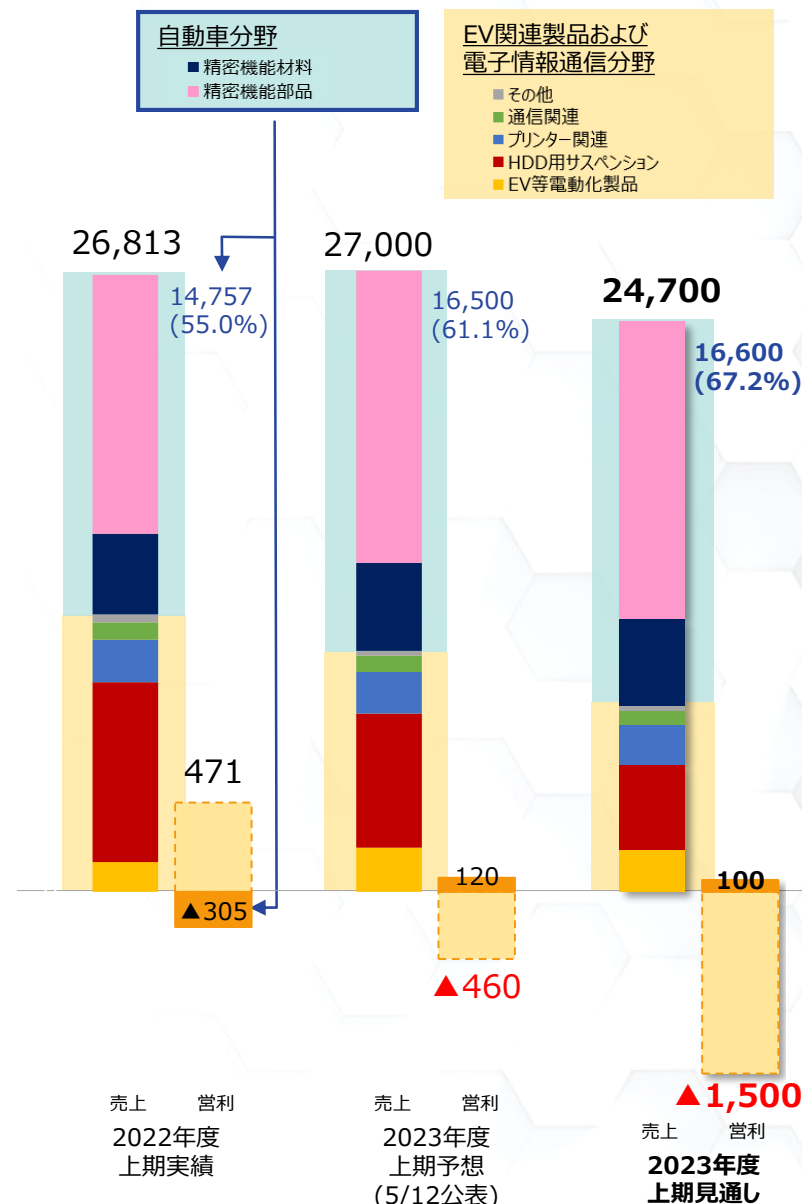
・自動車生産が回復傾向であることにより売上・利益ともに概ね予想通りに推移

### 今後の見通し

自動車電動化の加速により内燃機関構成部品の市場成長性は見込めないものの、売上規模は維持。

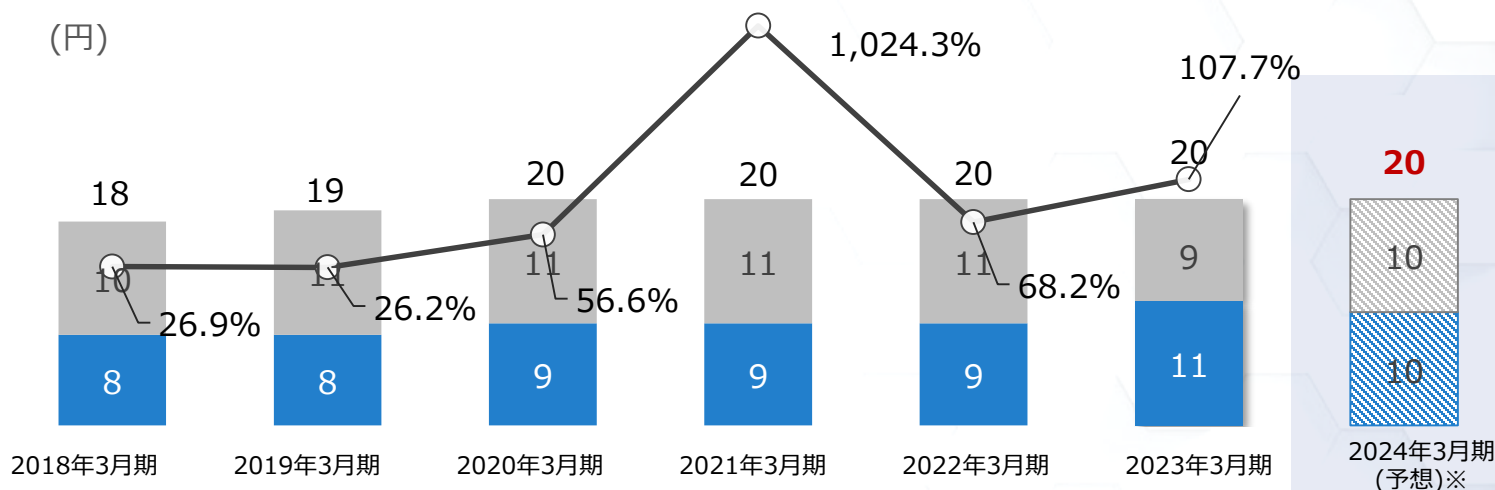
### 収益改善に向けた対策

- ・エネルギー費や副資材費等高騰分の価格転嫁(継続)
- ・資本収益性の観点から製品戦略の見直し
- ・生産性最適化に向けた拠点統廃合の検討
- ・投資や人員等の経営資源の配分見直し



<b>財務・資本戦略</b>	資本収益性とBSマネジメントを推進すべく、 自己資本の積み増しを抑制するための積極的な株主還元を実施
<b>配当方針</b>	<b>ROE9.0%を超過するまで配当性向を75%とする</b> （配当下限は20円を継続）

GGP24配当方針に則り、配当下限20円は継続致します。



中間配当	8円	8円	9円	9円	9円	11円	10円
期末配当	10円	11円	11円	11円	11円	9円	10円
年間配当合計	18円	19円	20円	20円	20円	20円	20円

※今後業績予想が修正される場合、配当方針に基づき修正されることとなります。

## 【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

